

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成17年6月23日(2005.6.23)

【公開番号】特開2003-121568(P2003-121568A)

【公開日】平成15年4月23日(2003.4.23)

【出願番号】特願2001-311987(P2001-311987)

【国際特許分類第7版】

G 04 G 1/00

G 04 G 9/00

【F I】

G 04 G 1/00 313 A

G 04 G 9/00 303 Z

【手続補正書】

【提出日】平成16年10月4日(2004.10.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

現地時刻と、選択された少なくとも一つの他地域の時刻とを表示する時間情報表示装置であって、

表示手段と、

前記表示手段に前記現地時刻と選択された少なくとも一つの他地域の時刻とを時間軸に関連して表示させる制御手段とを備えることを特徴とする時間情報表示装置。

【請求項2】

前記制御手段は、前記現地時刻をアナログ時計部に、前記少なくとも一つの他地域の時刻を示すアナログ時計部よりも大きく表示させることを特徴とする請求項1記載の時間情報表示装置。

【請求項3】

前記制御手段は、一方向に向かって日時が進行していく時間軸を挟んで前記現地時刻を示すアナログ時計部と前記少なくとも一つの他地域の時刻を示すアナログ時計部とを配置して前記表示部に表示させることを特徴とする請求項1記載の時間情報表示装置。

【請求項4】

前記制御手段は、前記現地時刻、前記少なくとも一つの他地域の時刻を表示しているそれぞれの近傍に地域名を表示させることを特徴とする請求項1記載の時間情報表示装置。

【請求項5】

前記制御手段は、前記時間軸と関連付けて太陽、月の動きを示す曲線を表示させることを特徴とする請求項1記載の時間情報表示装置。

【請求項6】

前記制御手段は、前記時間軸を移動させるように前記表示部を制御することを特徴とする請求項1記載の時間情報表示装置。

【請求項7】

前記制御手段は、前記時間軸上に色を変えて日付を表示させることを特徴とする請求項1記載の時間情報表示装置。

【請求項8】

前記制御手段は、現地時刻に関連する時間軸と、少なくとも一つの他地域の時刻に関連

する時間軸とを別々に表示させることを特徴とする請求項1記載の時間情報表示装置。

【請求項9】

前記制御手段は、前記各時間軸を球体に巻き付けて表示させることを特徴とする請求項8記載の時間情報表示装置。

【請求項10】

前記制御手段は、前記時間軸を螺旋状に表示させることを特徴とする請求項1記載の時間情報表示装置。

【請求項11】

前記制御手段は、前記時間軸を文字盤上に形成して表示させることを特徴とする請求項1記載の時間情報表示装置。

【請求項12】

前記制御手段は、前記時間軸を移動させて現地及び少なくとも一つの他地域の未来又は過去の時刻を、それぞれのアナログ時計部に表示させることを特徴とする請求項2記載の時間情報表示装置。

【請求項13】

表示手段と、

前記表示手段に表示される時刻の地域を選択させる選択手段と、

時間情報を出力する計時手段と、

前記時間情報を用いて、現地時刻と前記地域における地域時刻を算出する算出手段と、

時間軸を表す表示を前記表示手段に表示させるとともに、前記時間軸に関連付けて、前記現地時刻を表す表示と前記地域時刻を表す表示とを前記表示手段に表示させる制御手段と

を備えることを特徴とする時間情報表示装置。

【請求項14】

前記算出手段は、前記計時手段からの時間情報と前記選択された地域の情報とに基づいて前記地域時刻を算出することを特徴とする請求項13記載の時間情報表示装置。

【請求項15】

前記算出手段は、前記計時手段からの時間情報と時差情報とを用いて前記地域時刻を算出することを特徴とする請求項14記載の時間情報表示装置。

【請求項16】

前記制御手段は、時刻を表す表示の位置を固定として、前記時間軸をスクロールする表示制御を行うことを特徴とする請求項13記載の時間情報表示装置。

【請求項17】

前記制御手段は、システムのタイムゾーンが変更されたとき、前記現地時刻を表す表示の位置を変更することを特徴とする請求項13記載の時間情報表示装置。

【請求項18】

現地時刻と、選択された少なくとも一つの他地域の時刻とを表示部に表示するための時間情報表示方法であって、

時計及びカレンダー機能を有している時計回路から送られてくる時間データを用いて、現地時刻と少なくとも一つの他地域の時刻とを算出する時刻算出工程と、

前記時刻算出工程により算出された現地時刻と少なくとも一つの他地域時刻とを前記表示部に時間軸とともに表示させる表示制御工程とを備えることを特徴とする時間情報表示方法。

【請求項19】

現地時刻と、選択された少なくとも一つの他地域の時刻とを表示部に表示する時間情報表示装置に実行される時間情報表示プログラムであって、

時計及びカレンダー機能を有している時計回路から送られてくる時間データを用いて、現地時刻と少なくとも一つの他地域の時刻とを算出する時刻算出工程と、

前記時刻算出工程により算出された現地時刻と少なくとも一つの他地域時刻とを前記表示部に時間軸とともに表示させる表示制御工程とを備えることを特徴とする時間情報表示

プログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

【課題を解決するための手段】

本発明に係る時間情報表示装置は、前記課題を解決するために、現地時刻と、選択された少なくとも一つの他地域の時刻とを表示する時間情報表示装置であって、表示手段と、前記表示手段に前記現地時刻と選択された少なくとも一つの他地域の時刻とを時間軸に関連して表示させる制御手段とを備える。

また、本発明に係る時間情報表示装置は、前記課題を解決するために、表示手段と、前記表示手段に表示される時刻の地域を選択させる選択手段と、時間情報を出力する計時手段と、前記時間情報を用いて、現地時刻と前記地域における地域時刻を算出する算出手段と、時間軸を表す表示を前記表示手段に表示させるとともに、前記時間軸に関連付けて、前記現地時刻を表す表示と前記地域時刻を表す表示とを前記表示手段に表示させる制御手段とを備える。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明に係る時間情報常時方法は、前記課題を解決するために、現地時刻と、選択された少なくとも一つの他地域の時刻とを表示部に表示するための時間情報表示方法であって、時計及びカレンダー機能を有している時計回路から送られてくる時間データを用いて、現地時刻と少なくとも一つの他地域の時刻とを算出する時刻算出工程と、前記時刻算出工程により算出された現地時刻と少なくとも一つの他地域時刻とを前記表示部に時間軸とともに表示させる表示制御工程とを備える。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明に係る時間情報表示プログラムは、前記課題を解決するために、現地時刻と、選択された少なくとも一つの他地域の時刻とを表示部に表示する時間情報表示装置に実行される時間情報表示プログラムであって、時計及びカレンダー機能を有している時計回路から送られてくる時間データを用いて、現地時刻と少なくとも一つの他地域の時刻とを算出する時刻算出工程と、前記時刻算出工程により算出された現地時刻と少なくとも一つの他地域時刻とを前記表示部に時間軸とともに表示させる表示制御工程とを備える。